

水道事業の概要について

■沿革（主な事業のみ）

- ・昭和44年 3 月 事業認可 以降 5 回見直し
- ・昭和46年 8 月 給水開始…栗坪取水場、高麗本郷配水池（現高麗本郷配水場内）
（計画人口 8,500人、一日最大給水量 2,125^m）
- ・昭和49～50年度 第1次拡張…高岡浄水場、高麗本郷配水場 外
（計画人口 34,000人、一日最大給水量 9,520^m）
- ・昭和52～60年度 第2次拡張…高萩浄水場、高萩取水場、北平沢取水場
（計画人口 47,600人、一日最大給水量 16,000^m）
- ・昭和59～62年度 第3次拡張…高麗本郷取水場
（計画人口 50,000人、一日最大給水量 17,000^m）
- ・昭和63～平成 6 年度 第4次拡張…県水導入、高岡配水場
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 23,300^m）
- ・平成 8 ～12年度 第5次拡張…田波目配水場
（計画人口 59,800人、一日最大給水量 28,700^m）
- ・平成13年度 駒高配水場（駒高地区への給水）
- ・平成18年度 山根配水場（埼玉医科大学国際医療センターへの給水）
- ・令和元年 9 月 事業変更認可（高麗本郷浄水場の浄水方法変更）
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 24,600^m）

■事業の状況

項 目	令和 5 年度末	令和 4 年度末	比 較
行政区域内人口	54,323 人	54,557 人	△ 234 人
給水人口	54,298 人	54,526 人	△ 228 人
給水戸数	25,065 戸	24,773 戸	292 戸
普及率	99.9 %	99.9 %	0 ポイント
年間配水量	7,076,140 ^m	6,755,095 ^m	321,045 ^m
一日平均配水量	19,334 ^m	18,507 ^m	827 ^m
一日最大配水量	21,245 ^m	21,194 ^m	51 ^m
年間有収水量	6,396,459 ^m	6,184,164 ^m	212,295 ^m
一日平均有収水量	17,477 ^m	16,943 ^m	534 ^m
県水の割合	54.3 %	52.9 %	1.4ポイント

■経理・業務の状況

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較
水道事業収益(税抜き)	1,036,592,865 円	1,001,610,313 円	34,982,552 円
うち水道料金(税抜き)	785,387,410 円	749,489,640 円	35,897,770 円
水道事業費用(税抜き)	1,058,737,267 円	1,064,202,191 円	△ 5,464,924 円
当年度純利益(△純損失)	△ 22,144,402 円	△ 62,591,878 円	40,447,476 円

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較
資本的収入(税込み)	359,197,000 円	485,150,000 円	△ 125,953,000 円
資本的支出(税込み)	759,701,310 円	788,428,403 円	△ 28,727,093 円
収支差引	△ 400,504,310 円	△ 303,278,403 円	△ 97,225,907 円

- ・資本的収入及び支出に対する不足額を補填する財源の内訳

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	28,755,674 円	22,529,126 円	6,226,548 円
過年度分損益勘定留保資金	151,658,773 円	74,150,127 円	77,508,646 円
減債積立金	120,089,863 円	106,599,150 円	13,490,713 円
建設改良積立金	100,000,000 円	100,000,000 円	0 円
合 計	400,504,310 円	303,278,403 円	97,225,907 円

■企業債の残高

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較
企業債年度末残高	2,474,039,182 円	2,306,729,045 円	167,310,137 円